

## 財政誘導目標の達成状況

4期にわたる財政誘導目標により実現した財政健全化の水準を堅持していく。

## 5 期 目 の 数 値 目 標

①令和8年度の財政調整型基金残高  $\geq$  200億円

R6当初：213億円

・財政調整型基金…財政調整基金、県立公共施設等建設基金、減債基金、大規模事業基金、長寿社会対策推進基金の5基金。

②令和8年度の実質的な県債残高  $\leq$  3,800億円

R6当初：3,621億円

・実質的な県債残高…臨時財政対策債及び交付税措置率の高い防災関連等の起債に係る交付税措置額を除いた県債の残高。

③当初予算編成時でのプライマリーバランスの黒字化

R6当初：6億円の黒字

・プライマリーバランスとは、基礎的財政収支のことで、黒字であれば、当該年度の政策的事業が将来への負担を増加させることなく実施でき、健全な財政運営が行われていることを示す。

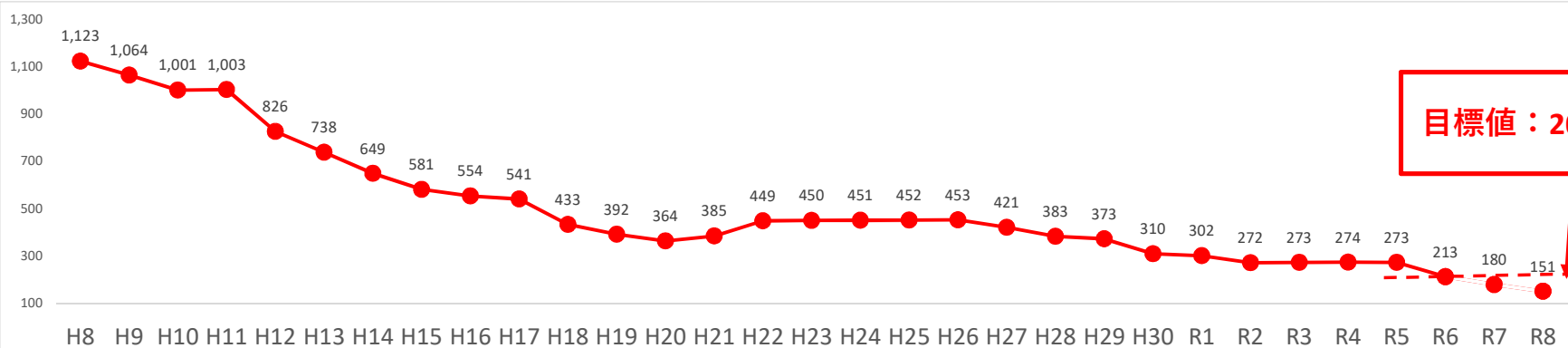
・プライマリーバランスの黒字(臨財債除く): 公債費 - 県債発行額 > 0

# 今後の財政推計

(令和6年2月時点の歳入・歳出を前提にした試算)

## 1 財政調整型基金残高の推移

(単位:億円)



OR4までは決算、R5は2月補正後決算見込、R6は当初予算後、R7以降は目標設定時の推計値。

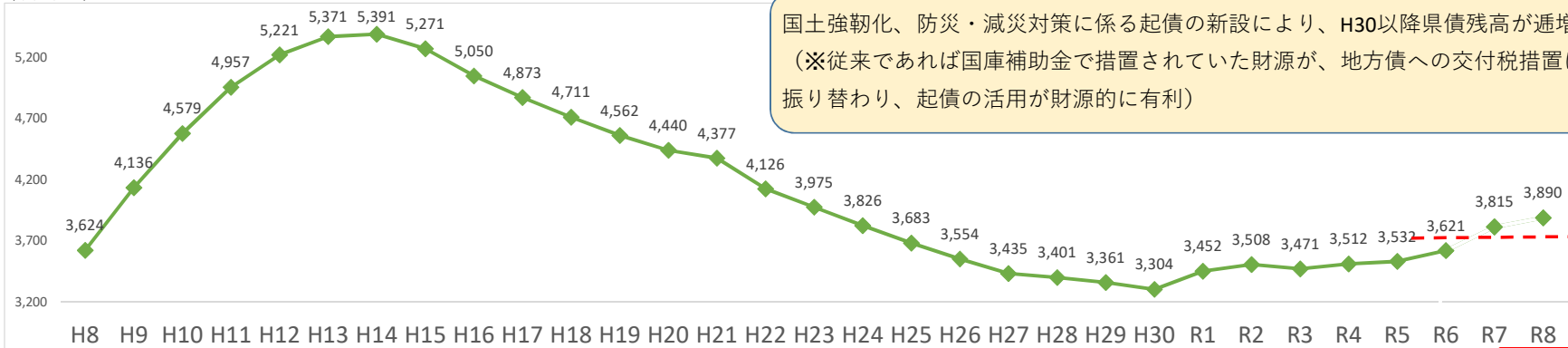
目標値：200億円以上

基金残高  
引上げ

目標達成に向けて更なる  
行財政改革を推進

## 2 実質的な県債残高の推移

(単位:億円)



国土強靱化、防災・減災対策に係る起債の新設により、H30以降県債残高が通増  
(※従来であれば国庫補助金で措置されていた財源が、地方債への交付税措置に  
振り替わり、起債の活用が財源的に有利)

県債残高  
引下げ

目標値：3,800億円以下

OR4までは決算、R5は2月補正後決算見込、R6は当初予算後、R7以降は目標設定時の推計値。